

(3) WinYAT32 Ver.4.0 の設定と利用方法

初期設定の方法

ア セットアップウィザードの起動

インターネットと接続できるパソコンに WinYAT32 Ver.4.0 が、正常にインストールされているものとします。WinYAT32 のインストール直後には、**WinYAT32 セットアップ**を起動させると、セットアップウィザードが起動しますので設定を行う必要があります。その後各種設定を進めます。その方法は、次のとおりです。

(ア) セットアップウィザード

タスクバーの**スタート**をクリックして、メニューの**プログラム (P)**を選択し、一覧の中の**WinYAT32 Ver.4.0**を選択します。一覧の中の**WinYAT32 セットアップ**をクリックすると図資 3 - 19のセットアップウィザード画面が表示されますので**次へ (N)**をクリックします。



図資 3 - 19 セットアップウィザード画面

(イ) ローカル環境の設定

パソコンに電子メールなどを保存するための「ホームディレクトリ」を指定します。ここで指定したホームディレクトリに受信したメールが保存されます。通常は、そのままの設定とします。ディレクトリを確認の後、図資 3 - 20の**次へ(N)**をクリックします。



図資 3 - 20 ローカル環境の設定画面

(い) ニュースキャッシュの設定

ここでは、受信したニュース記事を一時的に保存する「ニュースキャッシュ」の設定を行いますが、今回はニュースの設定を行わないため、図資 3 - 21の**次へ (N)**をクリックします。



図資 3 - 21 ニュースキャッシュの設定

(I) セットアップウィザードの完了

図資 3 - 22の画面の**完了**をクリックします。これでセットアップウィザードは、終了します。



図資 3 - 22 セットアップウィザードの完了

イ セッションの設定

電子メールを送受信するメールサーバとの通信に関する設定を行います。この設定に関する情報を「セッション名」と呼ばれる名前を付けて複数登録することができます。これにより、複数のメールサーバの電子メールを読むことができます。今回は「標準の設定」という名前のセッション名で当総合教育センターのメールサーバと接続することとします。

(ア) 接続方法の選択

前述の -ア-(ア) の方法で WinYAT32 セットアップを起動します。すると図資 3 - 23の画面が表示されますので、最初にメールサーバへの接続方法を選択します。次のどちらかを選択します。

専用線接続の場合

オンライン(LAN接続)を選択

ダイヤルアップ接続の場合

ダイヤルアップ(ダイヤルアップに接続)を選択

(イ) セッション情報の設定

続いて、図資 3 - 24のようにパソコンから接続するメールサーバを指定します。

YATSVR のホスト名及びポート番号の欄に

`mx1.kyoto-be.ne.jp` `112`

を入力します。続いて POPPASS の欄に を入れ、右隣のポート番号の欄に `106` を入力します。次に NNTP の欄は、 として使用しません。SMTP は、 を入れてホスト名及びポート番号の欄に

`mx1.kyoto-be.ne.jp` `25`

を入力します。

(ウ) ユーザID及びパスワードの設定

WinYAT32 を設定したパソコンを一つのユーザIDだけで利用する際は、この欄に入力しておくことで、WinYAT32 起動時にユーザIDを入力する必要がなくなります。複数のユーザIDで利用する際は、空白にしておき WinYAT32 の起動の際にユーザIDを入力するようにします。パスワードは、セキュリティの点から WinYAT32 を起動させて電子メールを読むごとに入力することが望ましいことから、この欄は空白にします。

(イ) セットアップの終了

ここまでで基本的な設定は、終了しましたので **OK** をクリックして **WinYAT32 セットアップ**を終了します。



図資 3 - 23 接続方法の設定



図資 3 - 24 セッションの設定

WinYAT32 の起動と終了

基本的な起動と終了の方法は、次のとおりです。

ア WinYAT32の起動

(ア) ログイン画面の表示

タスクバーの「スタート」をクリックして、メニューの「プログラム (P)」を選択し、一覧の中の「WinYAT32 Ver.4.0」を選択します。一覧の中の「WinYAT32」をクリックすると図資 3 - 25のログイン画面が表示されます。



図資 3 - 25 WinYAT32 のログイン画面

(イ) ユーザIDの入力

ログイン画面のユーザIDの欄に利用者のユーザIDを入力します。なお、電子メールアドレスが「abc-es@kyoto-be.ne.jp」のとき、ユーザIDは「@」より左の部分の「abc-es」です。

(ウ) パスワードの入力

次にパスワードを入力します。マウスか「Tab」キーを押してカーソルをパスワードの欄の位置に移動させて下さい。パスワードを入力すると、画面上には、「*****」のように伏せ字となって表示されます。パスワードの入力後、「OK」をクリックします。

WinYAT32 を初めて使う場合に「以下のディレクトリが存在しません。作成しますか?」というメッセージが表示されますが、このときは、「はい(Y)」をクリックします。

(エ) WinYAT32の起動

メールサーバにユーザIDとパスワードが正しく認証されるとログイン画面が消え、サーバとの通信状況の画面が表示されます。新着メールがある場合は「新着メールがあります」というメッセージが表示されます。そこで「OK」をクリックして下さい。更に幾つかのウィンドウが表示され、WinYAT32 が起動し、電子メールをやり取りできる状態になります。

初めてWinYAT32を利用する際は、ユーザIDごとに署名(Signature)などのユーザ情報の設定が必要です。

(オ) エラーメッセージ

メールサーバとの接続が失敗した場合は、次のようなメッセージなどが表示されます。

パスワードの入力誤り

右の図資 3 - 26は、ユーザIDまたはパスワードが間違っているときに表示されます。大文字と小文字の入力の誤り（「CapsLock」キーを確認します。）がないか、接続するサーバが間違っていないかを確認します。「OK」をクリックして、再度接続を試してください。



図資 3 - 26 エラーメッセージ

接続するサーバの設定が間違っている場合のメッセージ

ホスト [server-name] の I P アドレスの取得に失敗しました
Authoritative Answer Host not found .

ネットワークの接続に失敗しました。
Attempt to connect timed out without establishing a connection

このメッセージは、サーバ名やポート番号が間違っているときや、ネットワークが利用できないときに表示されます。**WinYAT32 セットアップ**で設定を再確認します。正しく設定されているにもかかわらずこのメッセージが表示される場合は、パソコンのネットワーク設定に問題がある可能性があります。

イ WinYAT32の終了

WinYAT32 は、「メインウィンドウ」を閉じることにより終了します。

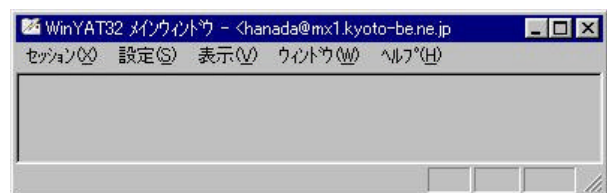
(ア) メインウィンドウの表示

メインウィンドウが表示されていない場合は、WinYAT32 関係ウィンドウの**ウィンドウ (W)**から**メインウィンドウ**をクリックして**図資 3 - 27**のようにメインウィンドウを表示させます。次に**メインウィンドウ**の**セッション**メニューの**WinYAT32 の終了**をクリックします。

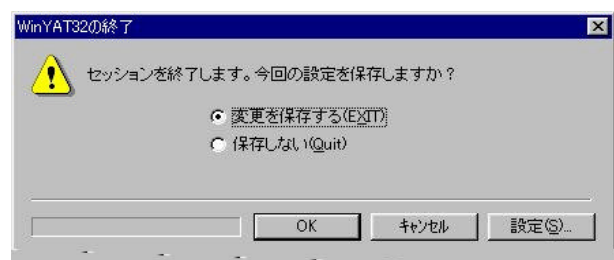
(イ) セッションの終了

図資 3 - 28の画面が表示されますので、設定の変更などをサーバへ保存するかどうかを選択します。通常は「変更を保存する」を選んでください。

キャンセルをクリックすると終了操作の直前の状態に戻ります。



図資 3 - 27 メインウィンドウの画面



図資 3 - 28 WinYAT32の終了画面

ユーザ情報の設定

ア 署名(Signature)の作成

署名(Signature)とは、電子メールを送信する際に本文の最後につける差出人の所属や氏名のことです。署名作成用のメニューから作成することができます。

(ア) ユーザ環境の設定画面の表示

メインウィンドウの「設定」をクリックして表示されたメニューの中の「ユーザ環境の設定」をクリックします。

(イ) ユーザ情報画面の表示

ユーザ情報をクリックすると図資 3 - 29 のようにユーザ情報の画面が表示されます。署名(Signature)の欄に自分の氏名などを入力します。入力後、「OK」をクリックすると保存されます。

ここで編集した署名は、電子メールの編集時に自動的に文末へ添付されます。



図資 3 - 29 署名の編集画面

イ メールフォルダの作成

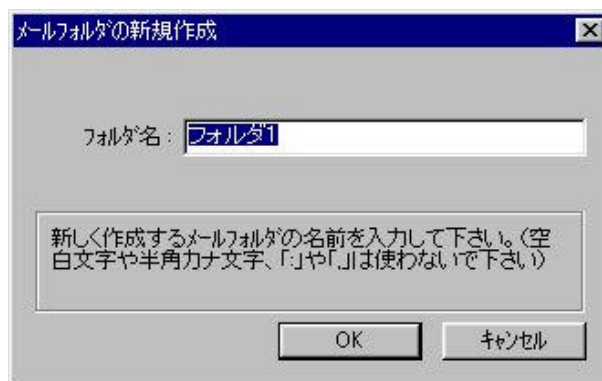
メールフォルダとは、届いた電子メールを分類・整理する箱のようなものです。届いた電子メールは通常は、inbox と呼ばれる、「郵便受け」に相当するフォルダへ取り込まれます。

(ア) メールフォルダを作成する

メールフォルダリスト又はメールリーダーの「フォルダ」をクリックし、メニューを表示させて「新規作成」をクリックします。

図資 3 - 30 のようにメールフォルダの新規作成画面が表示されますので、作成するフォルダの名前を入力します。

フォルダ名が入力できたら「OK」をクリックします。



図資 3 - 30 メールフォルダの新規作成

(イ) メールフォルダの設定変更

登録したフォルダの名前の変更や削除、フォルダ間のメールの移動は随時可能です。

電子メールの受信方法

WinYAT32 を起動させて、ユーザIDとパスワードの認証が成功すると自動的に電子メールがメールフォルダに振り分けられて保存されます。各メールフォルダに取込まれた電子メールの内容を読む方法は、次のとおりです。

ア メールフォルダリストの表示

図資 3 - 31のようにメールフォルダリストを表示させます。電子メールを読もうとするメールフォルダのフォルダ名をダブルクリックします。



図資 3 - 31 メールフォルダの画面

イ メールリーダーの表示

すると、図資 3 - 32のようにメールリーダーの画面が表示されます。メールリーダーには、そのフォルダに登録されている電子メールの一覧が表示されます。読みたい電子メールを選択し、ダブルクリックするとその本文が表示されます。



図資 3 - 32 メールリーダーの画面

ウ 電子メールの表示

- ・ 未読の電子メールを順に読むには **[Space]** キーを押下するか **[▶]** ボタンをクリックします。
- ・ 次の電子メールを読むには **N** キーを押下するか **[▶▶]** ボタンをクリックします。
- ・ 前の電子メールを読むには **P** キーを押下するか **[◀◀]** ボタンをクリックします。
- ・ メールリストから直接ダブルクリックするとその電子メールを読むことができます。
- ・ データが同封されているときは、同封一覧ウィンドウが表示されます。

エ 電子メールの属性について

メール番号の左端には、各電子メールの属性が表示されます。主な属性は、右の表資 3 - 1 のとおりです。

表資 3 - 1 メール番号の属性

属性	電子メールの属性
N	新しく届いた電子メール(新着メール)
-	読んでいない電子メール(未読メール)
*	すでに読んだ電子メール(既読メール)
D	削除された電子メール
+	データが同封されている電子メール
m	移動中の電子メール

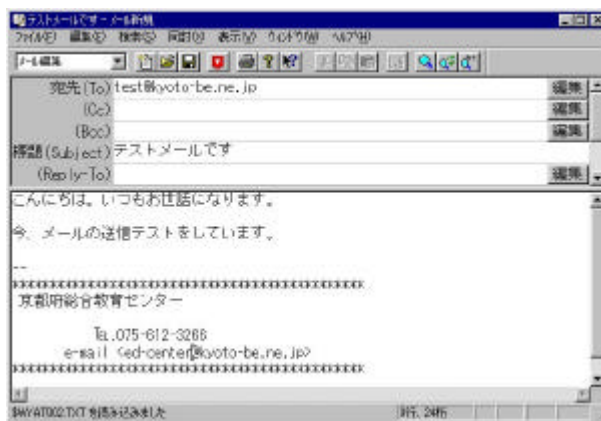
電子メールの送信方法

ア 電子メールの新規作成の方法

ウィンドウの「新しいウィンドウを開く」を選択し、「メール新規」をクリックします。すると図資3-33のような「メール編集」のウィンドウが表示されます。

ウィンドウの上半分は、これから送信するメールのヘッダが表示されています。

ウィンドウの下欄の下部には、あなたの署名が表示されています。



図資3-33 新規メール編集の画面

イ 電子メールの宛先などの入力と本文の編集

「宛先 (To)」に受取人の電子メールアドレスを入力します。

「件名 (Subject)」を入力します。日本語は使えますが、半角カナ文字は使えません。

下の欄に電子メールの本文を入力します。本文は署名の前に書きます。

ウ 電子メールの送信

「ファイル」の「送信」をクリックすると、「編集中のメールを送信しますか？」というメッセージが表示されますので、「はい」をクリックします。送信中を示すメッセージが表示され、無事に送信が完了すると「送信できました。編集したメールを削除しますか？」というメッセージが表示されますので、「はい」をクリックして、「メール編集」のウィンドウを閉じて下さい。

エ 電子メール送信失敗時の対応法

メール送信に失敗した際のエラーメッセージとその対処法の幾つかは次のとおりです。

「宛先 (To)」は必須項目です。

このメッセージは、メール送信時に必要な宛先が入力されていないことを示していますので宛先を入力します。

文書中に「半角カナ」が含まれています。

このメッセージは、メールの本文中、あるいはヘッダ部分に半角カナ文字が入力されていることを表します。インターネットに半角カナ文字を含むメールを送信しないように WinYAT32 がチェックしていますので、該当箇所を修正します。「検索」から「半角カナの検索」をクリックすると該当箇所の検索と置換ができます。

S M T Pサーバからメッセージが通知されました。
550 < user @ domain-name > ...User unknown

このメッセージは、宛先 (To や Cc など) に指定された電子メールアドレスが、正しくない場合に表示されます。「OK」ボタンをクリックし、正しい電子メールアドレスを入力して下さい。

オ 電子メールの返信方法

電子メールを返信する場合の操作は次のとおりです。

返事を出したいメールを表示させます。

ウィンドウのメニューの「新しいウィンドウを開く」を選択し、「メール返信」をクリックします。

「メール返信」の画面が表示されたら「本文への引用」と「引用マーク」を設定します。

「OK」ボタンをクリックして、「メール返信」の画面を閉じます。

しばらくすると「メール編集」のウィンドウが表示されます。

「メール編集」のウィンドウには、宛先が自動的に設定され、元のメールが引用された本文が表示されますので、メッセージを追加します。

編集の終了後、前述のとおり電子メール送信の操作を行います。

YATサーバの復旧

WinYAT32 が異常終了したり、WinYAT32 を利用している最中に誤ってパソコンの電源を切ってしまうと、サーバに接続中という情報が残ってしまうことがあります。その場合、電子メールの読書きができなくなりますので、YATサーバの復旧を行う必要があります。

ア YATサーバ復旧プログラムの起動

「スタート」をクリックし、「プログラム (P)」を選択します。メニューの「WinYAT32 Ver.4.0」を選択し、「YATサーバの復旧」をクリックします。すると、図資 3 - 34のようなYATサーバの復旧画面が表示されます。

イ YATサーバの復旧

ユーザIDとパスワードを入力し、「OK」をクリックします。「復旧できました。」というメッセージが表示されたら復旧処理は完了です。



図資 3 - 34 YATサーバの復旧画面

パスワードの変更

パスワードはメールサーバにあなたが正しいユーザであることを知らせる鍵です。他の人に知られないように注意し、定期的に変更します。

ア パスワード変更プログラムの起動

スタートをクリックし、**プログラム(P)**を選択します。メニューから **WinYAT32 Ver.4.0** をクリックし、**パスワードの変更**をクリックして起動させます。すると図資 3 - 35のようなパスワード変更の画面が表示されます。そこで、現在のユーザIDとパスワードを入力して **OK** をクリックします。

イ 新規パスワードの入力

入力したユーザIDとパスワードが正しければ、図資 3 - 36のように新しいパスワードの入力画面が表示されます。

新パスワードの欄に新しいパスワードを入力します。更に再入力の欄に新しいパスワードを入力します。入力ができたら **OK** をクリックします。

なお、新しいパスワードは6桁以上で、アルファベットや英記号、数字を組み合わせで作成します。また、アルファベットを使わず数字だけのパスワードや前回と同じパスワードでは無効となります。

ウ エラーメッセージ 1

図資 3 - 37は、数字だけのパスワードを入力したときのエラーメッセージです。

エ エラーメッセージ 2

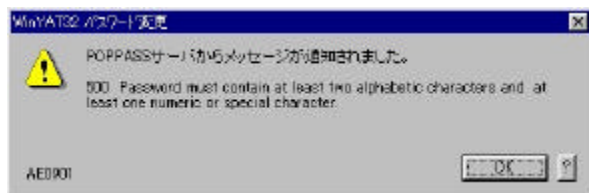
図資 3 - 38は、前回と同じパスワードを入力したときのエラーメッセージです。



図資 3 - 35 パスワード変更ログイン画面



図資 3 - 36 新パスワード入力画面



図資 3 - 37 エラーメッセージ 1



図資 3 - 38 エラーメッセージ 2

『WinYAT 32 Ver4.0』は、株式会社ジェプロの著作物であり、『WinYAT 32 Ver4.0』
にかかる著作権その他の権利はすべて株式会社ジェプロに帰属します。

(ホームページ <http://www.jepro.co.jp/>)